



申2号「営業統括センターの新設に伴う駅体制等について」団体交渉開催！①

1. 各営業統括センターの企画グループ、業務グループに配置された組合員・社員が、鉄道の安全運行やお客さまへのサービス等、駅業務における一人ひとりの役割に集中できる体制を整えること。

確認事項 安全がトッププライオリティであり、お客さまにサービスを提供していくことに変わりはない。業務に集中できる体制を構築する。勤務が多い箇所に個人ロッカーを設置する。

議論内容

組合:各営業統括センターの企画グループに配置される組合員・社員の人数を示すこと。

会社:企画グループは現行の地区指導センターの業務を担う。企画業務は定量的ではないため人数を示すのは難しい。

組合:各駅の作業ダイヤを示すこと。

会社:みどりの窓口営業時間変更となる土浦駅以外の作業ダイヤに変更はない。

組合:現在の執務箇所業務に就くことを基本とすること。

会社:勤務箇所が多い職場に個人ロッカーを設置する。

組合:信号扱い業務や輸送関係業務等、各作業ダイヤにおいて、安全運行を担保するため、業務に集中できる体制を整えること。

会社:作業ダイヤに入る場合は、その業務に集中してもらう。業務を蔑ろにしない。

組合:出改札業務の作業ダイヤに入る場合は、お客さま対応を最優先とする体制を構築すること。

会社:今施策は安全・安定輸送やサービスを低下させるものではない。

2. 各営業統括センターに「ユニット」を設置する目的、役割、指揮命令系統を明らかにすること。

議論内容

組合:ユニットを設置する目的や役割を示すこと。

会社:営業統括センターに所属する全社員が1つのユニットに所属する。地域共創ユニット・鉄道事業ユニット・企画総務ユニットを発足し、企画業務を推進できる体制を構築する。一人ひとりが役割を意識し企画業務に参画する。

組合:ユニットの「主たる業務」を担う時間を示すこと。

会社:作業ダイヤで指定された時間や会社が業務指示した時に行う。

組合:ユニットの「主たる業務」の指揮命令系統を明らかにすること。

会社:企画グループに所属する副長が責任者となり、各グループに所属する社員に対して指示をする。責任者は拠点駅に配置することを想定している。

組合:ユニットの「主たる業務」はいつ開始し、各ユニットに組合員・社員が振り分けられるのか。

会社:営業統括センターが発足後、段階的に開始していく。

組合:ユニットの選定については、本人希望を尊重すること。

会社:ユニットの選定については、本人とのコミュニケーションや秋の自己申告書に伴う面談等で決定する。

組合:「ユニット」の設置について、委託会社も加わるのか。

会社:本施策ではグループ会社は含まれない。

鉄道の安全を守り、働きやすい職場を実現しよう！